

保育

1.概要

2018年4月から熊谷市の委託を受け、職員のお子さんだけでなく市民のお子さんもお預かりする医療機関併設型病児保育室となりました。3つの部屋を活用し、感染症の時は病気がうつらないよう個々の部屋で保育士：病児＝1：1の保育をしています。

2019年10月から送迎病児保育も開始されました。保護者に対し順次、病児保育の登録や送迎病児保育の登録説明や電話対応等、小児科看護師と協力し行っています。

アレルギーがあるお子さんには、必要に応じて管理栄養士による聞き取りをお願いしています。

毎月「こぐまちゃんちだより」を発行し、保育室の様子やお知らせ・お願いなどを掲載し、市役所を通して熊谷市内の保育園（保育所）・こども園に郵送しています。院内の職員にも配布しています。

院内の専門職（医師・看護師・薬剤師・放射線技師・管理栄養士）に保育士向け学習会を依頼し、病児保育に必要な知識を学んで現場で生かせるようにしています。

病児の症状に合わせて、保育中の処置や検査などにも対応し、医師・看護師と連携をとりながら、安心・安全な保育を目指しています。

2.スタッフ

保育士8名（エリア常勤1名、パート7名）

3 業務内容

保育：病児の受け入れ、日中の保育全般、検査時の補助、送迎病児保育

病児新規契約：登録の説明、電話対応、市役所への書類郵送、登録台帳記入/入力/管理

4. 実績 (2019 年度)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
開室日数	20	19	20	22	21	19
利用日数	17	18	20	22	20	19
延べ人数	32	41	65	77	44	61
1日平均	1.6	2.2	3.3	3.5	2.1	3.2

	10月	11月	12月	1月	2月	3月
開室日数	21	20	20	19	18	21
利用日数	21	20	20	18	18	17
延べ人数	54	59	57	42	42	38
1日平均	2.6	3.0	2.9	2.2	2.2	1.8

合計：開室日数→240日

利用日数→230日

延べ人数→612人